



バックラップキット

Greensmaster® 1021, 1026 芝刈り機用

モデル番号04800

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	—	コントロールカバーを外します。
3	近接センサーアセンブリ ダブルエンドねじ フランジナット 1/4" インタロックモジュール 六角ヘッドボルト 3/8"	1 2 2 1 2	近接センサーアセンブリとインタロックモジュールを取り付けます
4	ワイヤハーネス	1	ワイヤハーネスを取り付けます
5	必要なパーツはありません。	—	コントロールカバーを取り付けます。
6	駆動ハブ シール	1 1	リール駆動アセンブリにバックラップ用ノブを取り付けます。
7	ベイルキャッチ ノブ アクスロックブラケット 移動走行ホイールキット別売弊社代理店にご相談ください	1 1 1 1	バックラップの準備をします。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを停止する。

4. 点火プラグから点火コードを外す各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

2

コントロールカバーを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. アワーメータに接続されているワイヤハーネスを外す  1。



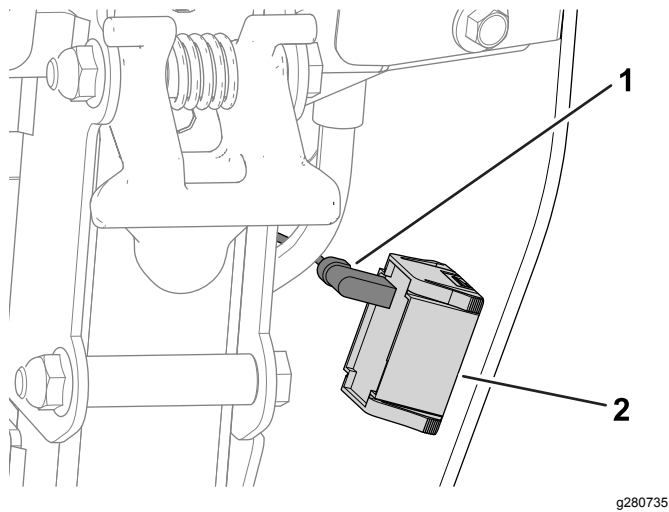


図 1

1. ワイヤハーネスのコネクタ 2. アワーメータ

2. コントロールカバーを後パネルに固定しているねじを外してコントロールカバーを外す図 2。

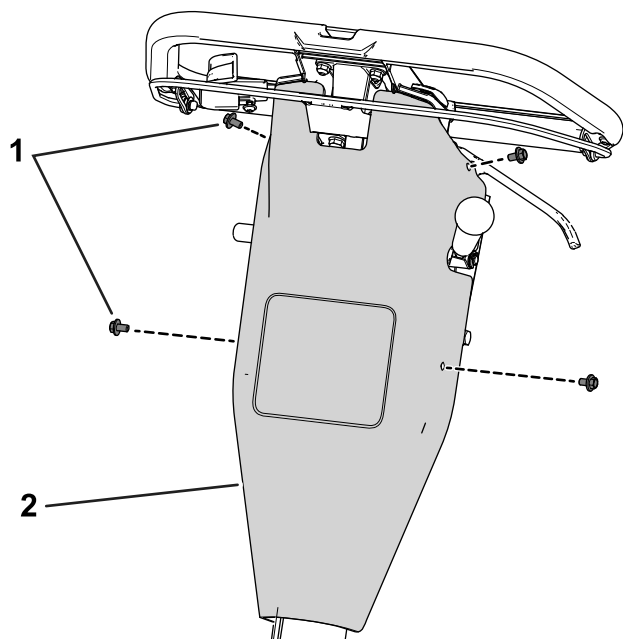


図 2

1. ねじ 2. コントロールカバー

3

近接センサーアセンブリとインタロックモジュールを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	近接センサーアセンブリ
2	ダブルエンドねじ
2	フランジナット 1/4"
1	インタロックモジュール
2	六角ヘッドボルト 3/8"

近接センサーアセンブリを取り付ける

手順については図 3を参照してください。

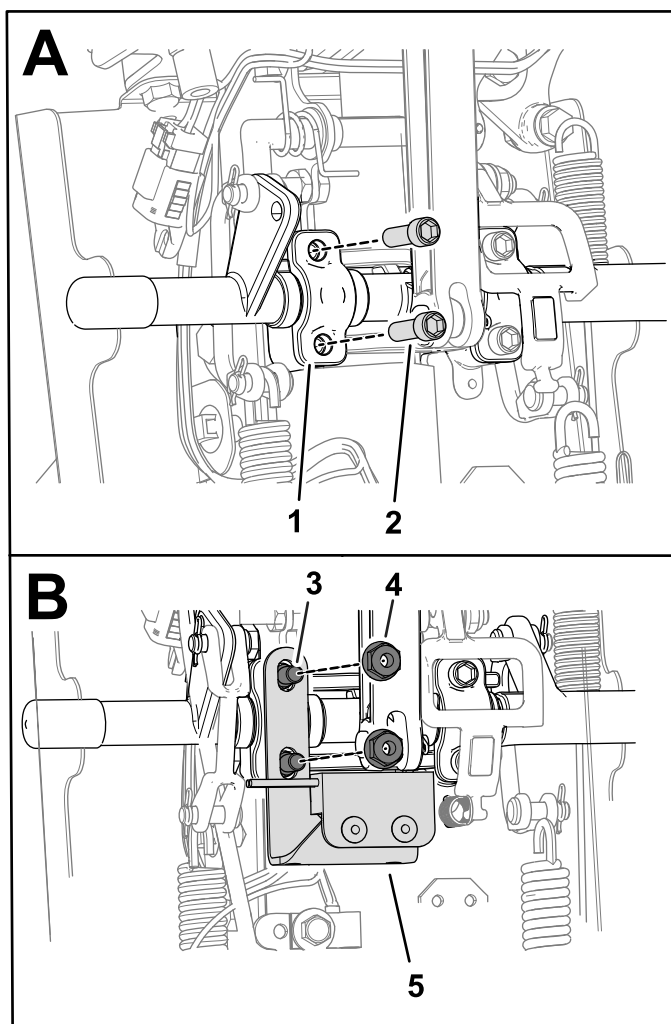


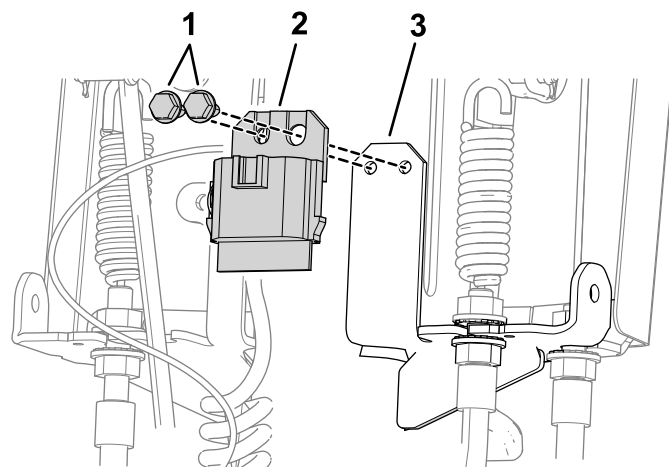
図 3

g283625

1. スペーサ
 2. ソケットヘッドねじ
 3. ダブルエンドねじ
 4. フランジナット 1/4"
 5. 近接センサーアセンブリ
1. コントロールシャフトのスペーサについているソケットヘッドねじを外す。
 2. ダブルエンドねじ 2 本とフランジナット 1/4" 2 個を使用して、近接センサーアセンブリをコントロールシャフトのスペーサに取り付ける。
 3. ねじとナットを 9-12 N·m 1.0-1.2 kg·m = 7-9 ft·lb にトルク締めする。

インタロックモジュールを取り付ける

六角ヘッドボルト 3/8" 2 本で、インタロックモジュールをケーブル用バルクヘッドに取り付ける 図 4。



g281730

図 4

1. ねじ
2. インタロックモジュール
3. ケーブル用バルクヘッド

4

ワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

- | | |
|---|---------|
| 1 | ワイヤハーネス |
|---|---------|

手順

ワイヤハーネスを以下のように取り付ける

- ワイヤハーネスの端部 6 ソケット側インタロックモジュールに接続。
- ワイヤハーネスの端部ラベル **TRACTION SWITCH** 近接センサーのコネクタに接続。
- ワイヤハーネスの端部ラベル **TO MAIN HARNESS** マシンのワイヤハーネスラベル **TO INTERLOCK MODULE** に接続。

5

コントロールカバーを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

手順については2 コントロールカバーを外す (ページ 1) の説明を参照してください。

1. 先に外したねじを使ってコントロールカバーを取り付ける。
2. アワーメータにワイヤハーネスを接続する。

6

リール駆動アセンブリにバックラップ用ノブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	駆動ハブ
1	シール

手順

1. リール駆動アセンブリ上部についているプラグを外す 図 5。

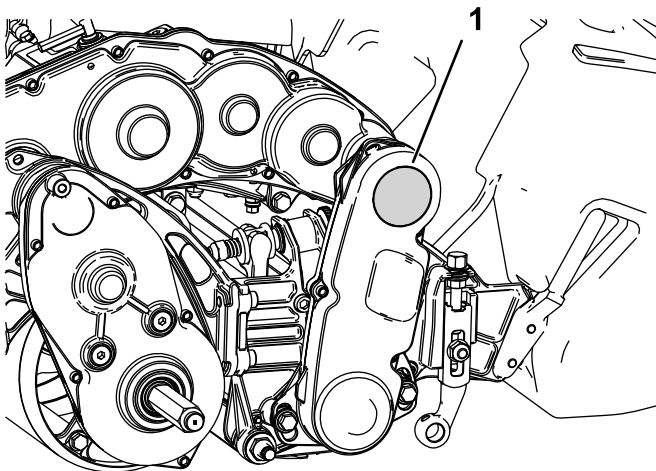


図 5

1. プラグ

2. リール駆動アセンブリにカバーを固定しているボルト3本を外してリール駆動カバーを外す 図 6。

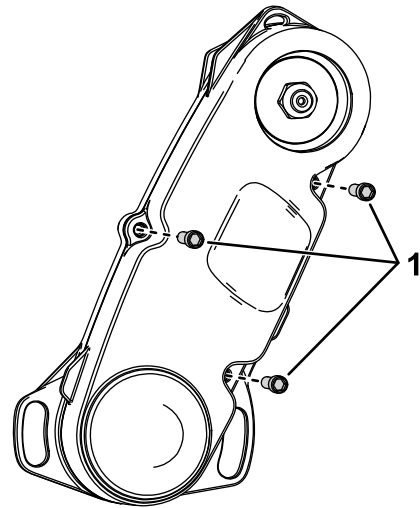


図 6

g284487

1. ボルト

3. 駆動プーリが動かないように押さえながら、リール駆動シャフトからナットを外す 図 7。

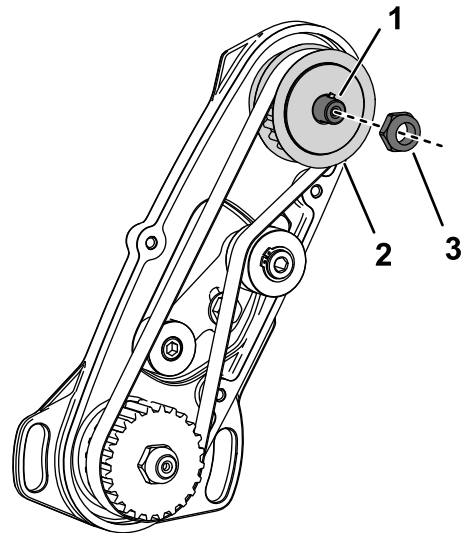


図 7

g284489

1. リール駆動シャフト
2. プーリ
3. ナット

4. 駆動プーリが動かないように押さえながら、リール駆動シャフトに駆動ハブを取り付ける 図 8。

7

バックラップの準備

この作業に必要なパーツ

1	ベイルキャッチ
1	ノブ
1	アクスルロックブラケット
1	移動走行ホイールキット別売弊社代理店にご相談ください

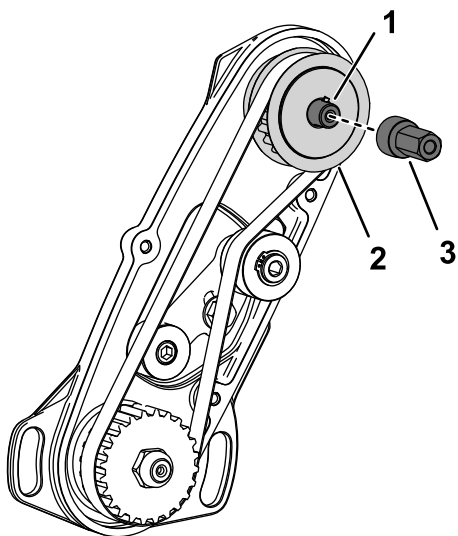


図 8

g284490

1. リール駆動シャフト
2. プーリ
3. 駆動ハブ

5. 駆動プーリが動かないように押さえながら、駆動ハブを 37-44 Nm 3.8-4.4 kg.m = 27-32 ft-lb にトルク締めする。
6. リール駆動カバーのリップにグリスを塗り、そこにシールを貼りつける。シールがカバーと面一になるようにしっかり押し付けること 図 9。

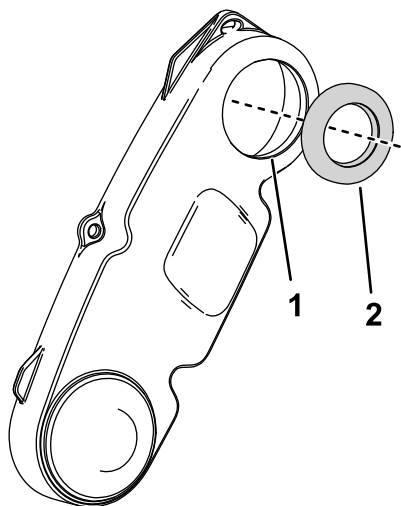


図 9

g284488

1. リップ
2. シール

7. ステップ 2 で外したボルトを使用してカバーをリール駆動アセンブリに取り付ける 図 6 を参照。

手順

1. 点火プラグに点火コードを取り付ける各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。
2. [カッティングユニットのバックラップ \(ページ 6\)](#) で使用するために、残っている付属部品ベイルキャッチ、ノブ、アクスルロックブラケットと移動走行用ホイールを準備する。

運転操作

カッティングユニットのバックラップ

マシン側のバックラップ準備

1. キックスタンドを移動走行ホイール整備位置にセットする各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。
2. 走行ドラムの位置を確認各マシンのオペレーターズマニュアルを参照して、左アクスルシャフトにアクスルロックブラケットを以下の手順で取り付ける
 - ドラムが低位置にセットされている場合ブラケットの短い方の足をマシンに向けてシャフトに取り付ける。
 - ドラムが高位置にセットされている場合ブラケットの短い方の足をマシンに向けてシャフトに取り付ける [図 10](#)に示すように。

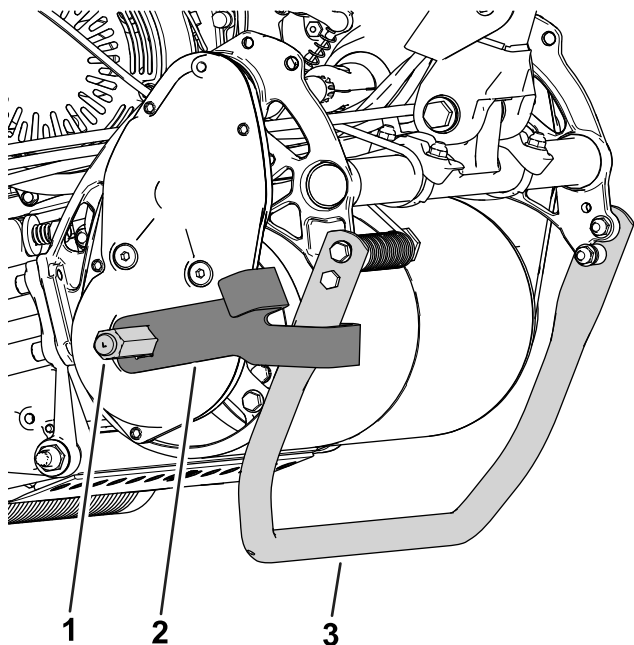


図 10

g284739

1. 左側アクスルシャフト
2. アクスルロックブラケット
3. キックスタンド

3. 右側アクスルシャフトに移動走行用ホイールと駆動ハブを取り付ける [図 11](#)を参照。

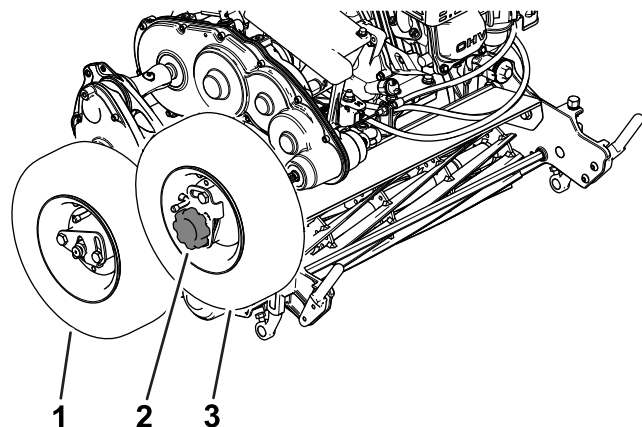


図 11

g283475

1. 移動走行用ホイール右側
 2. ノブ
 3. 移動走行用ホイール駆動ハブ
4. トランスミッションの駆動シャフトからカップラを外し、リール駆動アセンブリを調節してホイールが回転するようにする各マシンのオペレーターズマニュアルのカッティングユニットの保守の章を参照。
 5. 駆動ハブに取り付けたホイールにノブを取り付ける [図 11](#)。

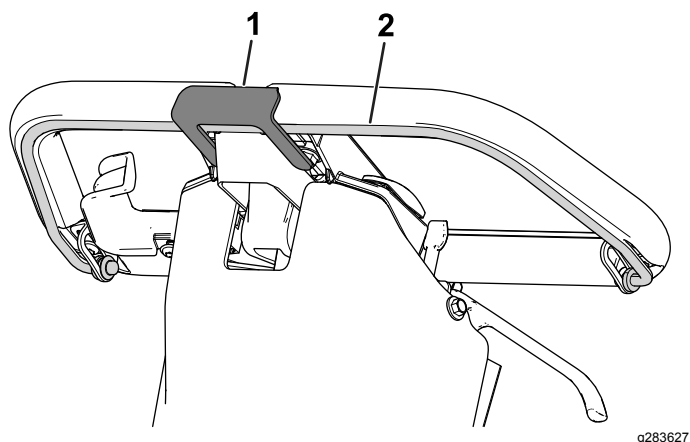
バックラップの実施

▲ 危険

回転しているリールに触れると大けがをする。

- バックラップ中のリールには、絶対に手や足を近づけないこと。
- 柄の短いブラシはバックラップに使用しないこと。代理店でブラシハンドルアセンブリP/N 29-9100を入手することができる。

1. エンジンを始動する; 各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。
2. 以下の手順で走行操作を行う
 - クラッチベイル搭載機クラッチベイルを操作してベイルキャッチを取り付ける [図 12](#)。



g283627

図 12

1. ベイルキャッチ 2. クラッチベイル

- **走行レバーキット搭載機** 走行レバーを下げて入位置にするキットの **取り付け要領書**を参照。
- 3. 柄の長いブラシを使用して、回転しているリールにラッピングコンパウンドを塗りつける。
- 4. バックラップが終了してリールの回転が停止したら、以下を行う。
 - A. ベッドナイフの前面に軽くヤスリを掛ける。
注 これによりベッドナイフ前端に形成されたバリを取り除きます。このとき刃先を削らないように注意してください。
 - B. ベイルクラッチとアクスルロックブラケットを外す。
 - C. リール駆動アセンブリを、トランスミッションの駆動シャフトに合わせ、駆動シャフトにリール駆動カップラを取り付ける各マシンのオペレーターズマニュアルのカッティングユニットの保守の章を参照。



Count on it.